

平成28年度 長野市地域包括支援センター運営協議会 報告書

日 時	平成28年 7月11日 (月) 午後 1時30分 ～ 3時30分
会 場	ふれあい福祉センター 4階 会議室 3
出席者	委員14人 (欠席 重倉委員、北澤委員) 事務局10人 地域包括代表 3人
次 第	<p>1 開 会 介護保険課 戸谷補佐</p> <p>2 あいさつ 田中保健福祉部長</p> <p>3 委員交代 長野県看護協会長野支部 水内信枝氏 長野圏域介護保険事業者連絡協議会 宮澤秀規氏</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 平成27年度事業報告・収支決算について 説明：介護保険課 戸谷補佐 中部地域包括支援センター 池田補佐 (資料1～資料3)</p> <p>(2) 平成27年度事業内容の評価について 説明：中部地域包括支援センター 池田補佐 (資料4)</p> <p>(3) 平成28年度事業計画・収支予算について 説明：介護保険課 戸谷補佐 (資料3、資料5)</p> <p>(4) 介護予防支援業務の指定居宅介護支援事業所への委託について 説明：中部地域包括支援センター 羽賀係長 (資料6)</p> <p>(5) その他</p> <p>5 閉 会 介護保険課 戸谷補佐</p>
質 疑 応 答 要 旨	
委 員	(1) 平成27年度事業報告・収支決算について
事 務 局	直営の地域包括支援センター (以下「包括」)の方が委託包括よりも担当する高齢者人口が少ないが、何か意図があるのか。
委 員	第6期長野市介護保険事業計画 (あんしんいきいきプラン)の中で平成27年から29年までの計画の中で直営の包括は基幹型とし、市全体の包括で行う事業の企画等に重点を置いていきたいと考えている。担当する区域も高齢者人口も減っているが行う業務は減っておらず、基幹型包括としての業務をさらに進めているところである。
委 員	直営の包括は基幹型として企画等に力を入れていくとのことだが、訪問リハビリも介護予防の事業として重要なものだと思う。訪問リハビリについても力を入れてやっていただきたい。
委 員	最近、介護サービスを提供していない総合病院が包括を開設することが続いている。本来総合病院は急性期の疾患等に対応する場であるべきと考えるが、市は今後は総合病院が事業に参入していった方がいいと考えているのか。

事務局	<p>市としては在宅介護支援センター（以下「在介」）の運営法人に包括の業務を委託してきた経過があるが、今後特に総合病院の包括を増やしていこうとは考えていない。今年4月より開設した篠ノ井総合病院と新町病院も昨年度まで在介を委託していた。</p> <p>包括の募集の際は、包括又は在介を運営する法人の中から公募を行い、選定し委託をしている。選定用件の中に総合病院という用件は設けていない。</p>
委員	<p>資料2の各包括の平成27年度の活動報告の中で名前が出てこない包括はどういう活動をしていたのか。たまたま項目に当てはまらなかっただけか。</p>
事務局	<p>今年度より開設した2センターについては取り上げていない。また、独自の活動報告がたまたまなかったか、同じ内容の報告をした複数の包括の中に埋もれてしまった包括があったかもしれない。</p>
委員	<p>資料の中で包括と住民自治協議会（以下「住自協」）とやり取りをしているとの記載があるが、包括と住自協でやり取りした内容や住自協の情報等を市内のケアマネジャー（以下「ケアマネ」）に周知しているか。</p> <p>包括から住自協の活動等を教えてもらえれば、ケアマネの今後の活動に大きな変化があると思う。包括が中心となり、みんなで情報を共有しケアマネも中に混ぜてもらえたら地域の意識もより早く育つのではないか。</p>
事務局	<p>新しい総合事業で実施する住民主体のサービスのこともあるので、地域の活動についてケアマネにも知っていただく必要があると思う。総合事業のことやケアマネジメントについて8月、9月頃にケアマネへの説明会を行い情報を提供する予定である。また、いただいたご意見は全包括の集まる運営調整会議等で報告させていただく。</p>
委員	<p>知っている知らないではものすごく違うのでぜひ取り組んでいただきたい。</p>
会長	<p>包括の専門職代表の方々にきていただいているので、日々業務を行う中で出てくる問題意識ややってきたこと、課題などをお話しいただきたい。</p>
委託包括代表	<p>住自協に関してだが、包括も関わり始めたばかりで、まだケアマネの皆さんに情報を提供できるところまで達していないのが現状である。住自協にはそれぞれ温度差もあれば運営方法も全く異なる。少しずつ接点を持てるようになってきたのもう少し時間をいただいてケアマネの皆さんに発信できる情報があれば発信したいと思う。</p>
委員	<p>しっかり決まった情報でなくてもいい。現状だけでも発信できないか。</p>
委託包括代表	<p>現状を発信できるまでにも至っていない。</p>
委員	<p>住自協により地域差があるのはよくわかっているが、住自協と包括だけの縦の活動だともったいないことになってしまいそうなので、みんなで話し合って活動していかなければ</p>

	ればならないと思う。
委員	住自協等と包括の連絡協議会はあるのか。窓口がないとつながっていかない。具体的に進めるような話にならないと全然発展しない。
委員	いろいろな連絡協議会と連携をとって包括的にサービス等の提供につなげるのが包括の役割ではないか。
委員	連携をとるとはどういうことか。現在、住自協とケアマネが連携が取れているとはまるで思えない。システムを作らないと住自協からケアマネに声がかかることはない。
委員	会議にケアマネが参加するというわけではなく、住自協の活動を知るだけでも違うのではないか。
委員	積極的に活動している住自協とそうでない住自協とで温度差が出てしまう。
会長	地域包括ケアの体制づくりが始まったが、まとめていくのが包括と期待されているので、今の職員体制で出来ないなら出来ないなりにこれからどうしていくのか考えていかなければならない。
委託包括代表	包括に寄せられる相談が増加し、相談内容も複雑になってきた。総合事業が始まり業務量も増えていくと思うので、少ない人数で事業を行っていけるように相談し、考えているところである。
委託包括代表	今まで地域で作り上げてきた歴史ある住自協の中に入っていくということとは難しく、時間もかかりそうである。また、相談業務も複合的に問題のある相談が増えてきている。今後に向けて体制等考える必要がある。
	(1) について承認
	(2) 平成27年度事業内容の評価について
	質疑なし 承認
	(3) 平成28年度事業計画・収支予算について
委員	新しい総合事業とは何をするのか詳しく教えてほしい。
事務局	要支援1・2の方のホームヘルプサービスとデイサービスのやり方が変わってくるといもので、市では10月1日以降総合事業として行っていく予定である。地域の皆さんの力をお借りした住民によるサービスも加わり、事業所によるサービスも今までどおり

	<p>のサービスに加え、メニューを簡単にして料金も安くしたサービスも提供していく。</p>
委員	<p>包括の職員が総合事業について詳しく知りたがっている。</p>
事務局	<p>包括に総合事業のサービス利用の窓口となっていただくので、市と包括で情報共有をしていかなければならないと考えている。総合事業についての詳細部分の情報共有については8月に包括の全職員向けに説明会を行う予定である。毎月行われる運営調整会議でもご質問いただけたらと思う。</p>
委員	<p>8月までははっきりしないのか。</p>
事務局	<p>随時説明はさせていただく。各包括に配布したパンフレット等ご覧になっていただきたい。</p>
会長	<p>今年度から各包括で職員1名の増員が図られているようだが、これは業務が増え職員も必要になればどんどん増やしていけるものなのか。</p>
事務局	<p>包括の委託料は地域支援事業の中の包括的支援事業予算の中から支出している。事業の財源は、国及び県の実施する地域支援事業交付金交付要綱に定められた負担割合に基づき交付された交付金であり、予算の範囲内で交付されるものとなっているため、上限がある。上限について加味しながら委託料について毎年予算を組んでいるところである。そのため現状以上の予算をあてていくことは厳しい現状である。</p>
会長	<p>今後、高齢者人口が増えたら交付金等の収入額も増えていくのか。</p>
事務局	<p>第6期長野市介護保険事業計画で高齢者人口の増加の幅を見込んでいるが、さらに人員を増やせる金額までは増えないと思う。</p>
会長	<p>国や県からの交付金で賄えない金額については市で補填すればどうか。</p>
事務局	<p>基本的に交付金等の中でやりくりするものだと思うので、市で補填までして人員を増やすよりは業務の見直しをする必要があると思う。</p>
委員	<p>資料には総合事業の予算も入っているのか。</p>
事務局	<p>予算資料の中では特に総合事業に関わる金額は数字で出てこない。各包括が加味したかどうかかわからないが、介護予防計画作成収入の一部には総合事業の介護予防ケアマネジメントの収入として入ってくるものもある。</p>
委員	<p>総合事業に関する周知活動で民生児童委員に説明をする機会もあるようだが、民生児童委員の改選は11月に行われる。10月に説明されても新しい民生児童委員はわからな</p>

<p>事務局</p>	<p>い。役員改選にあわせて11月以降に説明会をしたほうがいいのではないかな。</p> <p>10月から始めるとなると、始まる以前に皆さんに知っていただく必要があると思う。民生児童委員の定例会には包括職員が出席していることもあるので予めパンフレット等で総合事業についてお知らせし、改選後も引き続き周知させていただきたいと考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>二度手間になるし、周知出来たり出来なかったりの差が出てくるのではないかな。</p> <p>一度だけ聞いても中々わからないかもしれないし、改選しても同じ方が再選されるかもしれないし、改選して人が変わったとしても初めに説明を聞いた方が次の方に伝えるかもしれない。いずれにしても知っている人が増えるということはいいことなのかもしれない。</p>
<p>委員</p>	<p>(3) について 承認</p> <p>(4) 介護予防支援業務の指定居宅介護支援事業所への委託について</p> <p>質疑なし 承認</p> <p>(5) その他</p>
<p>委員</p>	<p>地域包括支援センターを紹介するパンフレットの一覧について、郵便番号が載っていない。郵便物を送る際に一つ一つ郵便番号を調べることになるので、地域包括支援センターの一覧に郵便番号も入れてほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>参考資料の長野市地域ケア会議の概要(案)についてだが、ケア会議のあり方を検討しているところであり、地域ケア会議は包括主催に変更となる。今までは行政区単位の地区ケア会議、さらに保健福祉ブロック単位のブロックケア会議、そして長野市ケア会議の三層構造でケア会議を行ってきたが、今後は要支援者ごとの検討をする個別ケア会議を新設し、包括主催の地域ネットワーク会議で個別ケア会議のケース検討の状況や、把握した地域の課題を集約及び検討をし、さらに上に長野市ケア会議を置くように見直しをしているところである。</p> <p>昨年度の3回目の運営協議会で、各包括に人員を増やすにあたり、職種の幅を広げて3職種以外の職員を包括に置くことについてご意見を頂戴するところがあるかもしれないと申し上げたが、今のところ半分以上の包括で3職種で増員でき、その他の包括も3職種の中で増員を凶っているため、包括に従事する職種については当面は職種を広げず経過を見たいと考えている。</p>